

『第28回共同通信社杯(GII)』の 勝ち上がり方式・自動番組編成等について

昨年度まで4月・10月にそれぞれ開催していた、「共同通信社杯春一番(GII)」・「共同通信社杯秋本番(GII)」を1つに集約し、「共同通信社杯春一番(GII)」を踏襲する形で4月に開催することになったのが「共同通信社杯(GII)」です。今回の「共同通信社杯(GII)」には、以下の大きな特徴があります。

「共同通信社杯」は若手選手の登竜門! 特色ある選考基準を採用!!

『共同通信社杯(GII)』 出場選手選考基準

【選考期間】 平成23年8月～平成24年1月(6ヶ月間)

【選考基準】 ※開催時S級在籍

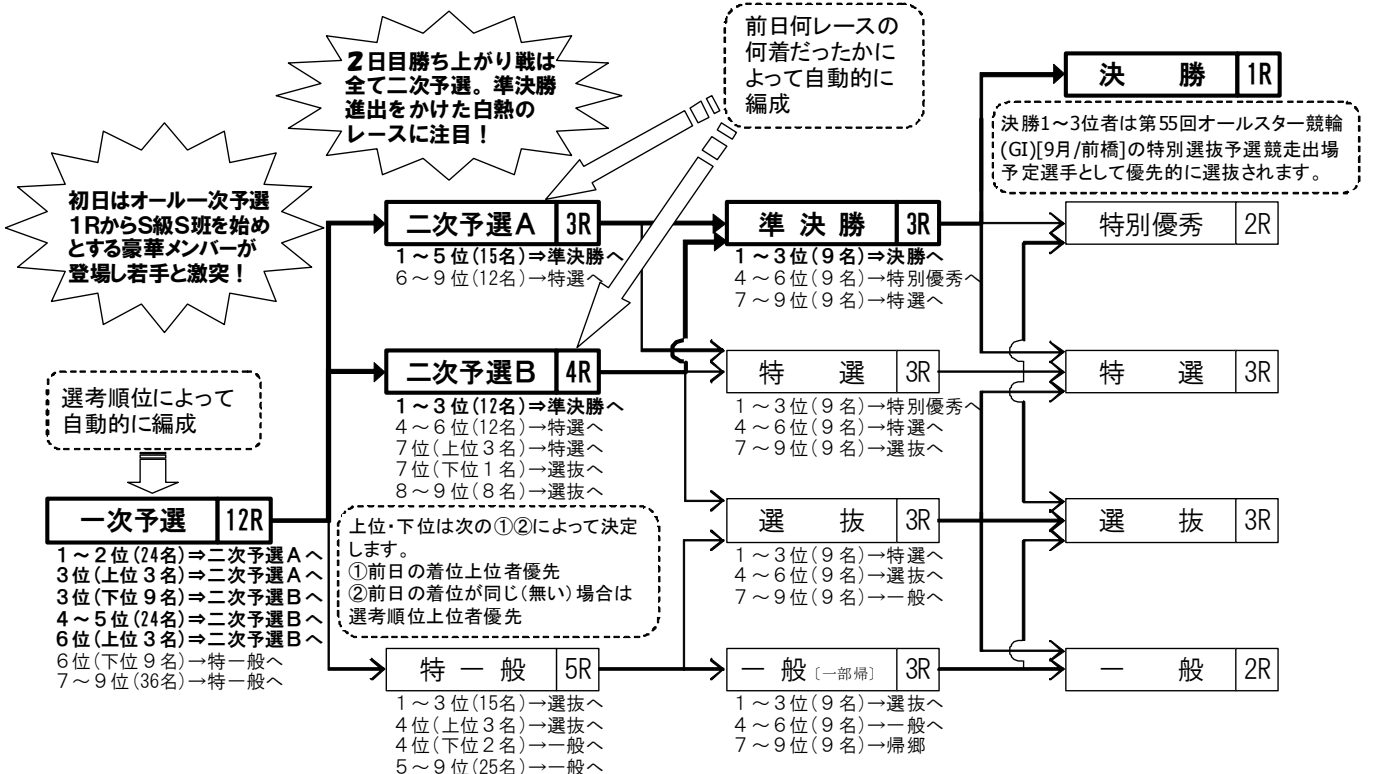
- (1) S級S班在籍者
- (2) ロンドンオリンピック自転車競技トラック種目ナショナルチーム
- (3) 2011年自転車競技トラック種目強化指定・強化育成選手(開催時S1)
- (4) 第27回共同通信社杯秋本番(GII)決勝競走出走者
- (5) 北京オリンピック自転車競技トラック種目メダル獲得者
- (6) ヤンググランプリ2011(GII)出走者
- (7) 共同通信社の推薦する者3名以内
- (8) 上記(1)～(7)を除く、89期～99期までの各期卒業の選手のうち、選考期間の平均競走得点上位者から順次16名
- (9) 選考期間のFI決勝1～3位回数上位者(同数の場合は選考期間の平均競走得点上位者)

今開催の出場選手は、この選考基準に基づいて選考されました。特に選考基準の(6)や(8)により若手選手が多数出場するのが共同通信社杯(GII)の大きな特徴となっています。

伸び盛りの新鋭選手がS級S班やF Iで活躍するトップレーサーに挑戦することとなるこの開催は、未来のスターを目指す若手選手の「登竜門」と言えるでしょう。

4日制競輪で唯一のオール予選! 初日1Rから豪華メンバーが登場!!

第1日 4/27(金) | 第2日 4/28(土) | 第3日 4/29(日・祝) | 第4日 4/30(月・振)



今回の勝ち上がり方式で特徴的なのが、**第1日にシード競走は行わず全て一次予選で行う点**、また、**第2日は「優秀競走(着位に関わらず準決勝に進出できる競走 例:競輪祭第2日ダイヤモンドレース等)」を設定せず、全て二次予選(A・B)で行う点**です。初日から全ての選手に平等な条件で優勝を争うこの勝ち上がり方式。毎開催特選シードが約束されているS級S班も気が抜けず、逆に勢いに乗ったニューヒーローの誕生シーンが見られるかもしれません。

【裏に続きます→】

一次予選、二次予選A・Bは自動番組編成方式で実施！

各レースに出場する対戦選手の組み合わせを決定することを「番組編成」と言います。通常の開催では、出場する選手の「強さ」・先行やマークなどの「戦法」・所属府県の「地区バランス」等を勘案し、(財)日本自転車競技会が番組編成を行っています。

今回の「共同通信社杯 (G II)」では、選考順位や着位などを基にあらかじめ決められた枠に入れて出場レースを決定する「自動番組編成方式」を一次予選と二次予選A・Bに採用しています。(裏面の「勝ち上がり方式」もご参照ください。)

★第1日(4月27日 金曜日)一次予選の自動番組編成について

編成種目	割り振るレース	選考順位									
		1位	24位	25位	48位	49位	72位	73位	96位	97位	
一次予選	第Aレース	1位	24位	25位	48位	49位	72位	73位	96位	97位	
	第Bレース	2位	23位	26位	47位	50位	71位	74位	95位	98位	
	第Cレース	3位	22位	27位	46位	51位	70位	75位	94位	99位	
	第Dレース	4位	21位	28位	45位	52位	69位	76位	93位	100位	
	第Eレース	5位	20位	29位	44位	53位	68位	77位	92位	101位	
	第Fレース	6位	19位	30位	43位	54位	67位	78位	91位	102位	
	第Gレース	7位	18位	31位	42位	55位	66位	79位	90位	103位	
	第Hレース	8位	17位	32位	41位	56位	65位	80位	89位	104位	
	第Iレース	9位	16位	33位	40位	57位	64位	81位	88位	105位	
	第Jレース	10位	15位	34位	39位	58位	63位	82位	87位	106位	
	第Kレース	11位	14位	35位	38位	59位	62位	83位	86位	107位	
	第Lレース	12位	13位	36位	37位	60位	61位	84位	85位	108位	

第1日一次予選は、出場選抜を受けた際に付与された選考順位に従い、上の表にあてはめて割り振りをを行います。

欠場者が出た場合は原則として、選考順位が欠場者の次位の選手を欠場者が割り振られることになっていたレースに割り振り、以下順次繰り上げるような形で割り振りをしなおします。108位の選手が割り振られることになっていたレースには補欠選手を繰り上げて編成します。

また、各レースの車番およびレース番号(第×レース)は、この編成結果を受けて、(財)日本自転車競技会が決定します。

★第2日(4月28日 土曜日)二次予選A・Bの自動番組編成について

進出先種目	一次予選の着位	一次予選の競走番号											
		1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R	11R	12R
二次予選A	1位	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
	2位	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A
	3位	※一次予選3位者の中で選考順位最上位者から「C→A→B」の順に割り振る(3名)											
二次予選B	3位	※一次予選3位者の中で選考順位第4位者から「ア→イ→ウ→エ…」の順に割り振る(9名)											
	4位	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ
	5位	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア
	6位	※一次予選6位者の中で選考順位上位者から「イ→ウ→エ」の順に割り振る(3名)											

二次予選A・Bは、一次予選の競走結果で上表の通り自動的に編成します。
たとえば、1Rで1位となった選手は、上表二次予選Aの「A」レースに当てはまる他選手(3R2位・4R1位…)と対戦することになります。

また、一次予選で3位となった選手は、選考順位上位3名が二次予選Aに、下位9名が二次予選Bに進出します。
この編成結果を受けて、(財)日本自転車競技会が二次予選A・Bの車番・レース番号を決定します。

★選考順位一覧

順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名
1	武田豊樹	40	吉田敏洋	79	牛山貴広
2	浅井康太	41	室井健一	80	藤田竜矢
3	村上義弘	42	明田春喜	81	佐野梅一
4	深谷知広	43	山内卓也	82	北津留翼
5	伏見俊昭	44	中川誠一郎	83	鈴木裕
6	山口幸二	45	柏野智典	84	濱口高彰
7	成田和也	46	山田裕仁	85	濱田浩司
8	佐藤友和	47	菊地圭尚	86	笠松信幸
9	山崎芳仁	48	永井清史	87	阿竹智史
10	大塚健一郎	49	野田源一	88	牧剛央
11	小野俊之	50	荒井崇博	89	渡部哲男
12	岡田征陽	51	山口貴弘	90	渡邊秀明
13	松岡貴久	52	井上昌己	91	田中晴基
14	村上博幸	53	勝瀬卓也	92	西谷岳文
15	神山雄一郎	54	金子貴志	93	和泉田喜一
16	小嶋敬二	55	吉本卓仁	94	坂口晃輔
17	渡邊晴智	56	坂本亮馬	95	山田幸司
18	渡邊一成	57	柴崎淳	96	坂本貴史
19	佐藤慎太郎	58	内藤宣彦	97	西徹
20	中村淳	59	岩本俊介	98	松岡篤哉
21	新田祐大	60	山田英明	99	佐藤朋也
22	小倉竜二	61	安東宏高	100	小川祐司
23	飯嶋則之	62	加藤圭一	101	柴田竜史
24	岡部芳幸	63	柴崎俊光	102	稲毛健太
25	木暮安由	64	友定祐己	103	村上直久
26	松川高大	65	伊藤正樹	104	相川永伍
27	三宅達也	66	望月永悟	105	才迫勇馬
28	稲垣裕之	67	林雄一	106	上原龍
29	藤木裕	68	松本大地	107	西村光太
30	佐々木則幸	69	桐山敬太郎	108	竹内雄作
31	川村晃司	70	稲川翔	【補欠選手】	
32	南修二	71	松岡健介	補1	池田勇人
33	後閑信一	72	加倉正義	補2	松岡孔明
34	神山拓弥	73	小笠正義	補3	富永益生
35	脇本雄太	74	朝日勇	補4	大庭正紀
36	東口善朋	75	手島志誠	補5	小林則之
37	三谷将太	76	島野浩司	補6	竹山陵太
38	小林大介	77	早坂秀悟	補7	佐藤真一
39	松坂洋平	78	永澤剛	補8	網谷竜次